



ルーテル 藤が丘だより

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 牧師 佐藤和宏
tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp
発行 月報編集委員会 発行日 2018年7月1日 No. 50



photo by K. Sato

安息日は、人のために定められた。
人が安息日のためにあるのではない。
だから、人の子は安息日の主
でもある。

マルコによる福音書 2章27節b-28節



シリーズ説教

『救われて生きる』

牧師 佐藤和宏

マルコ2章23節～28節

「主の祈り」は、主イエスが弟子たちに教えられた祈りですが、多くの人が、ひっかかる部分を感じる祈りでもあります。それは「私たちに罪を犯した者を赦しましたから、私たちの犯した罪をお赦しください」となっている部分です。人を赦してもしないのに「赦しましたから」と祈るのが辛いのです。また、それが自分の赦しの条件のように聞こえて、抵抗感が生じるのです。しかし私は、ひっかかるようなものを祈るたびに感じるのですが、主の祈りの意図しているところではないかと思うのです。主の祈りを、さらっと抵抗感なく形式的に祈るのではなく、これを祈るたびに多くの人が抵抗を感じてきた部分で、人の罪を赦せていない自分に繰り返して出会い、それを口にして祈ることで少々辛い気持ちになることこそが、大切なことなのだと思います。

律法の前にあって、人は先の主の祈りと同じように、何か心に刺さるものを感じるものが求められるのです。そのことによって、人は律法を完全に守っていると誇る自分ではなく、守れていない自分、罪人のままではしかない自分に出会うのです。そこで、罪人のままではしかないその私にこそ救いが訪れる、これが神の恵みがなされる業なのです。

さて、ファリサイ派の人々が「なぜ、彼らは安息日にしてはならないことをするのか」と訴えています。彼らにとつては、安息日の律法が命じる「いかなる仕事もしてはならない」という戒めを、いかに守るかが重要なことであり、それを軽んじるような弟子たちの態度は赦せなかったのでしょう。主イエスは答えて言われます。「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない。だから、人の子は安息日の主でもある」。

安息日について律法は、「安息日を心に留め、これを聖別せよ。(出エジプト20章8)」「七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕

事もしてはならない。(同10節)」と規定しています。ファリサイ派の人々は、この「いかなる仕事もしてはならない」という命令を安息日の戒めのすべてと解釈し、それを守るように努め、人々にもそれを要求しました。しかし、この戒めの前提と言え

る部分に、「これを聖別せよ」と命じられていることを見逃すわけにはいきません。「聖別せよ」とは、神の事柄を人間の事柄から分けるといふことでしょう。このことから「安息日を心に留め、聖別せよ」とは、安息日をただ神のための一日とすること、これが最大の目的であるとわかるのです。申命記にみるこの戒めは、神のための一日とするというその内容と目的が、次のように明記されています。「聖書略(5章14)」。つまりこの戒めの最大の目的は、弱い立場の人々が心身ともに休み、元気を回復することにあります。そのため神は「いかなる仕事もしてはならない」と命じているのです。

ファリサイ派の人々にとつて安息日の律法は、「いかなる仕事もしてはならない」と人を束縛することにありましたが、神にとつてこの律法は、

人々が皆、力ある者も力を失った者も共に元気を回復して、再び日々の営みを始めるためなのです。これこそ主イエスが「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない」と言われていることなのです。

主イエスは、「私たちに罪を犯した者を赦しましたから、私たちの犯した罪をお赦しください」と祈るよう教え、そこに来るたびに、心に何か突き刺さるようなものを感じ取るようにされているのではないかと思うのです。そして、私たちが心に突き刺さるものを確かに感じ、その言葉に詰まってしまふほど、決してそのように生きていない自分、依然罪人のままでしかない自分に出会うとき、人はそれでもそのままの自分を愛し、赦される主イエスに出会うことが出来るのです。こうして私たちは礼拝のたびに、この安息日の主、そして私たちに新しいいのちへの道を開かれた復活の主に出会って、元気を回復し、日々の生活に帰って、安心して人を赦し、すべての人と共に新しく生き始めることができるのです。(聖霊降臨後第5主日)

東教区伝道支援金プロジェクト・講演会

「ストレスをためない関係性」

鈴木秀子先生の講演を聞いて

○田○子



6月10日、藤が丘教会に聖心女子大学の鈴木秀子先生をお招きしての「ストレスをためない関係性」と言う講演会は多くの教会外の方々もご来場下さり、盛況のうちに学びの多い会となりました。

講演で鈴木先生が話された関係性とは、①自分自身との関係性。②他の人との関係性。③人間を超えた大いなる存在との関係性です。

私は人との付き合いが苦手で、以前職場の人間関係にも悩んでいて「どうしたら他の人と上手くやっていけるのか」と言う事が私にとっての一つの課題であり、まずは「他の人との関係」が第一だと思っていました。でも鈴木先生は、「他の人との関係に悩む前に、まずは自分自身との関係を見直すことが大事です」と教えてくれました。

私は物事が上手くいかない時、(先生がズバリ言われたように)「だから自分ではダメなんだ」という思いに駆られ、

その嫌な思いをストレスとして貯めこむ傾向にありました。「そんな自分の中にあるストレスに気づきなさい。」嫌な思いが留まってはいませんか。(先生は私のような人間をよくご存じです。それは私にそのまま当てはまりません。)

〈自分の中に嫌な思いをしつかりと抱え、それを薄々は感じながらも気づかぬ振りをして、おまけに周囲の誰かのせいにして、恨み・辛みを持つたり〉なんて、おかしいですよ。改めて自分の愚かさを思います。

先生は言います。「自分の中に嫌な思いではなく、『喜び』を見つけること。自分自身と仲良しになること。それが自分を大切にすることです。」それは私に、一つの視点の転換を示してくれました。

「神は私たちに一日一日、繰り返し神の愛の現れである『いのち』を与えて下さり、それを見て神は『良い』と言っ

ておられる。それなのに〈自分はダメなんだ〉なんて言うのは神に対しての傲慢です。」と言う先生の言葉、胸に迫ります。

また先生は、自分で行うセルフケアの4つのポイントを教えてくれました。①H、健康。自分の体の健康に気を使っていきますか。(食事・運動・睡眠等)②A、怒り。自分の中に怒りを貯めてはいませんか。(外に出て叫ぶ等、自分なりの発散を考える。他の人に吐き出さない。)③L、孤独。他の人との繋がりを持っていますか。生き生きと生きていますか。④T、疲れ。疲れ

てはいませんか。(自らの疲れに気づき、心身の休養を取ろう。)

自分自身を大切にする為に、HALTを一つ一つ心掛けてゆけたらと思います。

先生の話を聞いて思ったことは、自分自身との絆を見直し、他の人との絆をより確かなものとする事はとても大切。しかし信仰、心の弱い私にとって、神との絆をしつかりと築いてゆくことが重要なということでした。

この講演会では多くの事を考えさせられました。鈴木先生、ありがとうございました。



■受洗

おめでとうございませう

6月3日の礼拝にて、○田○照さんが洗礼を受けられました。おめでとうございませう。

新しい信仰の道を主が共に歩まれませうように。どうぞ、良き交わりに加えてください。

■女性会だより

女性会 出席者…11名

聖書の学び…ロマ書4…13～25 「希望するすがなくとも」

その他… ◎女性会総・大会報告

◎7月に行われる城南神奈川地区親睦会について 場所 大岡山教会 日時 7月28日 土曜日 12:00～15:00

◎6月13日のお仕事会は15名出席



■訪問しました。

林○子さんと田○○子さんをそれぞれ訪問しました。楽しいひとときとなりました。ご同行いただいた皆

さん、ありがとうございました。知っている皆さんの訪問は、喜ばれます。ぜひ、次回は一緒にいたしましょう。

■教会の動向



■6月の教会

3日礼拝では、○田○照さんの洗礼式が執り行われました。また、子どもメッセージ、聖餐式がありました。礼拝後、定例役員会が開かれました。教会ピクニックの報告や伝道支援金プロジェクトからの報告を受けました。また、7月8日に予定されている信徒音楽礼拝の司会を○田基さん、証しを○田○子さんにお願いすることになりました。協議事項では、1998年から継続してきたチャイルドファンドの今後の支援について話し合われ、信徒の皆さんにも実情を知っていただき、検討することにしました。6日は、聖研がありました。

10日礼拝前に洗礼準備会がありました。また礼拝後、シスター鈴木秀子をお迎えして、講演会が開催されました。13日には、お仕事会がありました。15日は、洗礼後の学びでした。17日の礼拝にて、○田○友ちゃん(江○さんのお孫さん)の新生児祝福式をいたしました。幼い命のために、

お祈りください。礼拝後、伝道支援金委員会、女性会がそれぞれ開かれました。20日には、聖研がありました。24日の礼拝前に、洗礼準備会がありました。礼拝後、カトリック教会との打ち合わせがありました。

佐藤牧師は、2、14、15、26、27日に、それぞれ信徒訪問をいたしました。

礼拝に初めてのお越しは、吉永莉沙さんでした。主の祝福をお祈りします。

■牧師室より

フェイスブックで、礼拝ライブ中継を始めて半年がたちました。これまでお会いしたことのない方からも、反応をいただいています。直接、私たちの教会につながるかどうかは別として、キリスト教に触れる機会にはなっているように思います。

スマートフォンでないし、パソコンもしないから、私は関係ないと思っている「あなた」、周りに心当たりはありませんか？ お孫さんやお知り合いはいかがですか？ どうぞ声をかけてみてください。「私が行っている教会のフェイスブックをみて、そして『いいね』ってして！」と。